

ライフサポートひなた

症 例 概 要 利用者：80代 女性 介護度4

利用期間：令和7年11月～

既往歴： 高血圧（平成16年2月～）

腰椎圧迫骨折術後（令和3年6月～）

胆石症（令和3年6月～）

認知症、歩行困難（令和7年5月～）

経過：独居で生活されていたが認知症を発症し、在宅での生活が困難になり特養のショートステイを利用されていた。次男お嫁さんの父親が以前、当施設に入所されていた経緯もあり当施設に入所となる。

内 容

入所当初より帰宅願望が強くみられ、入所フロアのエレベーター前から離れようとしないうえに、またフロア内を歩き回るなど徘徊行動も多く、レクリエーションにも関心を示さず、「帰らせてほしい」「悲しい」といった発言が日々聞かれていた。環境の変化による不安や寂しさが強く、施設生活への適応が難しい様子が見られていた。

そのような中でも、ご本人が唯一興味を示されていたのが、施設内の「ひなたガーデン」での花の世話であった。関わりの中で「昔から花といちごが好きなのよ」と話される場面があり、ご本人の好きなことやこれまでの生活歴に着目した支援を検討した。そこでご家族の協力を得て、外出行事としていちご狩りを企画した。

当日は多くのいちごを召し上がり、終始笑顔がみられ、普段とは異なる穏やかな表情を確認することができた。施設へ帰設後も「いちごがとてもおいしかった」「たくさん食べた」と楽しそうに話される姿がみられたことから、その経験を継続できるよう施設内でいちごを育てる取り組みを開始した。ご本人にはいちごへの水やりを日課として担っていただき、役割を持って関わる機会を作った。

その結果、日々いちごの成長を楽しみにされる様子が見られるようになり、自然と笑顔や会話も増えていった。現在では、以前のようにエレベーター前で過ごす時間も減少し、いちごの世話を楽しみにながら穏やかに施設生活を送られている。

本事例を通して、入所者さんの嗜好や生活歴に目を向け、ご本人が楽しみや役割を持てる環境を整えること、またご家族と協働して支援を行うことが、施設生活の質の向上につながる事例として、キラキラ介護賞に推薦いたします。